**柚子の家 /周辺環境、日本文化体験**

神奈川県の緑豊かな山奥に佇む柚子の家は、伝統的な民家建築の手法で建てられた古民家です。板張りの床と太い木の梁で構成され、中央の部屋には昔ながらの囲炉裏があります。藤野地区の閑静な集落の高台に建つ家で、周囲を農園や柚子の木に囲まれていることから「柚子の家」と名付けられました。周辺を緑豊かな緑に囲まれ、澄んだ星空を眺めながらくつろげる素泊りの宿泊施設として来訪者が滞在できるよう、リノベーションされました。

柚子の家は、1842年から1872年にかけて、地元の農家の家として建てられました。建物は2019年にアーティスト・イン・レジデンス施設として改装されました。その後さらに改装され、元の構造の本格的な雰囲気と、設備の整ったキッチン、モダンなバスルーム、各部屋のエアコンなどのモダンな快適さが組み合わされています。

店内は広々として16名までご利用可能で、広い2階はグループミーティングやワークショップなどにご利用いただけます。ダイニングルームの囲炉裏は、かつて家族が食事をしたり交流したりするために家族の中心として機能していました。今日、お客様は囲炉裏の燃える石炭の上で調理された新鮮な地元の食材を食べながら、この伝統的な共同の雰​​囲気を体験できます。

フラワーアレンジメントや武士の刀と文化に関するインタラクティブなワークショップなど、家で開催されるさまざまな文化体験にも参加できます。このワークショップでは、刀道に焦点を当て、参加者は武士の刀についてだけでなく、その使用の背後にある文化や道徳律、武士の行動規範についても学ぶ実践的な体験を提供します。屋外エリアには日本庭園とバーベキュー施設があります。